

### 第64回 中国の認知症患者

現在、中国の認知症患者数は1000万人を超え、1970年の60歳から現在(77歳程度)に起因してアルツハイマー型認知症です。既に日本の認知症患者数(2012年時点で462万人、2025年には約700万人と予測される)を上回り、2020年には4200万人にも上ると予測されています。この急激な増加は、平均寿命の延長(1970年の60歳から現在は77歳程度)に起因しており、更には国が豊かになっていくと共に、肥満や喫煙、過度の飲酒など、生活習慣の変化からも見られる認知症増加リスクも懸念されています。



▶認知症ケア事例検討会の様子

こうした状況下、増え続けている認知症患者に対しての環境整備は急務にも関わらず、上海市では認知症に特化した施設はほとんど無く、また介護職員の認知症に関する専門知識や経験も乏しい状況にあります。そんな中、数ヶ月前の現地報道によると、認知症や精神疾患などによって行方不明になる人々の数が年間約50万人にも上るとのことです。施設にも入れず、家族だけで面倒を見るには限界があるように思います。このような現状について、上海市浦東新区

## 施設整備や職員教育が不十分

養老服務協会幹部の話によれば、認知症患者への法整備や専門資格の新設などは現時点でも何とぞおぼろげに、予定も今のところはないといえます。この要因の一つとして、認知症患者に対する医療介護連携は希薄であり、日常生活における重要性も軽視されていることが挙げられ、その結果、優

## 中国の高齢者マーケット



～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール  
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

介護Biz

## 脳血管疾患特化型リハ

ワイズ 外国人利用者も

ワイズ(東京都中央区)は2014年に自費のリハビリサービスを提供する「脳梗塞リハビリセンター」を都内で開所後、年々収益を増大させ事業所数を拡大させている今注目の企業だ。現在千葉・埼玉・東京・神奈川で同センターを7ヶ所展開しており、海外からもサービスを利用して利用者が集まっている。



早見泰弘 会長兼CEO

もともとITベンチャー企業を営んでいた早見泰弘会長兼CEOをきっかけに、ワイズ

の自身のリハビリ経験から、ワイズを立ち上げたものの、



▶OTによるリハビリ風景

を立ち上げた。第1号店として介護保険が適用されるリハビリ&フィットネス特化型ティ

## 60日間の卒業制で事業拡大

「脳梗塞リハビリセンター」をオープンした。「民間企業として脳血管疾患後遺症のリハビリに特化した施設は日本初」という。特徴として、PT・OT・ST・鍼灸師といった専門職による個別指導、そして自分のゴールと、到達するたに必要なりハビリプログラムを可視化した独自の評価メソッドの活用があげられる。独自開発した評価メソッドに2クール目に突入する人も少なくない。失

## 生活援助サービス開始

日本基準寝具 住宅改修・家事代行等

中国地方で福祉用具貸与・販売事業所、デイサービス、サービス付き高齢者向け住宅な

ドは、延べ1万人のデータをベースに作られたもので、「立位保持ができる」「小走り・ジャンプができる」といったゴールに到達するために必要なりハビリプログラムを123項目に分けて作成した。プログラムは60日間で、1回2時間の全16回で27万5000円。専門職による施術、トレーニング、カウンセリングを施設で行うほか、自宅でもリハビリを行ってもらう。卒業後、更なる目標のために2クール目に突入する人も少なくない。失



▶リハビリの様子

ほかに痙縮、失語症、認知症など。現在、脳血管性疾患患者は150万人おり、うち半数が退院後のリハビリが必要と言われているが、実際には退院患者の社会復帰を支援する受け皿が少ないのが現状だ。そのような中、脳梗塞リハビリセンターには全国から利用者が来るほか、欧米やアジア、特に中国からの利用者が多いという。

来年度は5施設を直営で作る予定で、インターネットを通じて在宅リハビリ事業も検討中、事業拡大を更に加速させる。

# 高齢者住宅新聞Web版

タブレットやスマホで、いつでも どこでも 「高齢者住宅新聞」が読める!!

- ・最新号を発行と同時に読める
- ・バックナンバーが読める
- ・知りたい情報が見つかる
- ・新聞の回覧を待つ必要なし

## 新聞購読者限定のサービスになります。

※Web版のみの購読はできません

本サービスにより、新聞を持ち歩かずともタブレットやスマートフォンでいつでもどこでも「高齢者住宅新聞」全ページを閲覧できるようになります。専用アプリをダウンロードしてすぐにご利用いただけます。

※購読者番号(S-から始まる5ケタの数字)は高齢者住宅新聞のご請求書、または新聞を封入している袋の宛名にあります  
※ご請求先は高齢者住宅新聞のお送り先と同一になります ※1つのアカウントを複数の方でご利用することはできません  
※購読アカウントはご利用人数分をお申込みください ※複数の端末から同時ログインはできません  
※ご入金確認後、登録メールアドレスにID、パスワードをお送りいたします。



通勤中、出張中、会議・プレゼン前、自宅で、業界ニュースを誰よりも詳しく知りたい方に!

- 購読期間 お申込みの号より1年間(1年更新)
- 購読料金 年間1万円(税別)

※お申込み1件につき、1アカウント(およびパスワード)を発行します。  
※Web版のみの購読はできません。新聞と併せてのご契約となります。  
※新聞のご契約が終了した場合、Web版の購読期間が1年に満たない場合でも終了となります。予めご了承下さい。